2024年3月期 第2四半期
決算説明資料

ユシロ化学工業株式会社 TYO 5013

YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.

2023年11月6日

2024年3月期第２四半期
決算業績概要

Results

©2023 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

2024年3月期第２四半期　連結業績概要

- 売上高は、主要得意先である日系自動車メーカーによって差があるものの、半導体等の部材不足の緩和に伴う減産の影響は徐々に縮小しており、回復基調が継続していることもあり、前年同期比17.1%増の25,495百万円。
- 営業利益は、原材料価格は高い水準にあるものの収益性が改善し、前年同期比384.1%増の1,771百万円。
- 経常利益は、営業利益の増加に加え持分法投資利益が増加したことで、前年同期比298.3%増の2,401百万円。
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比1,621.5%増の1,805百万円。

（百万円）

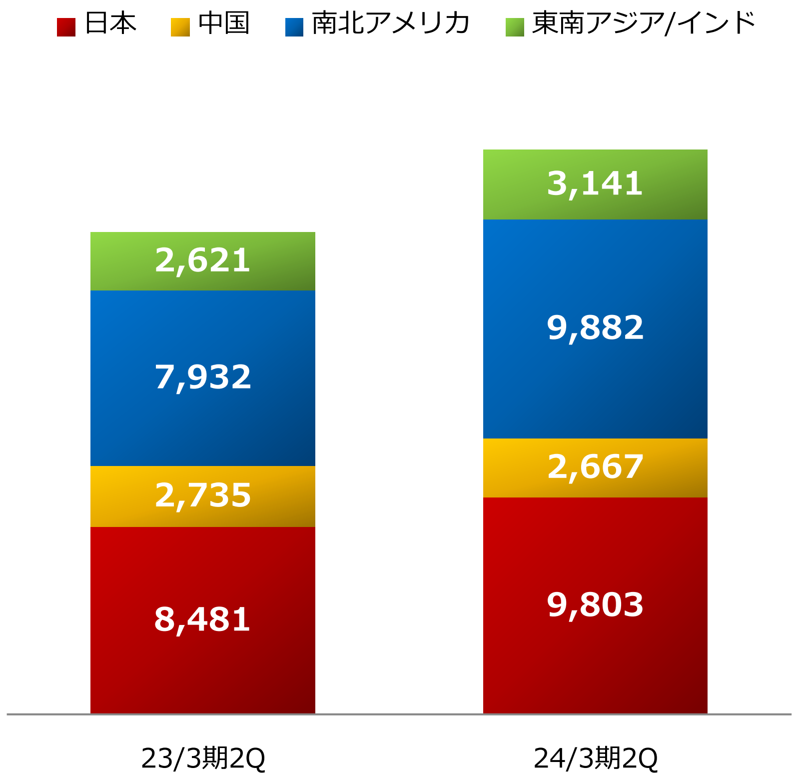
	23/3期2Q	24/3期2Q	前期比	
			増減額	増減率
売上高	21,770	25,495	+3,724	+17.1%
営業利益	366	1,771	+1,405	+384.1%
経常利益	602	2,401	+1,798	+298.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	104	1,805	+1,697	+1,621.5%

ユシロ ©2023 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD. All Rights Reserved.

2024年3月期第２四半期　地域別売上高

- 国内：自動車メーカーの半導体等の部材不足による減産の影響から生産が徐々に回復していることと、販売価格改定効果により増収。
- 海外：主要得意先である日系自動車メーカーに差があるものの生産回復が進み、中国を除き増収。

セグメント別売上高（百万円）



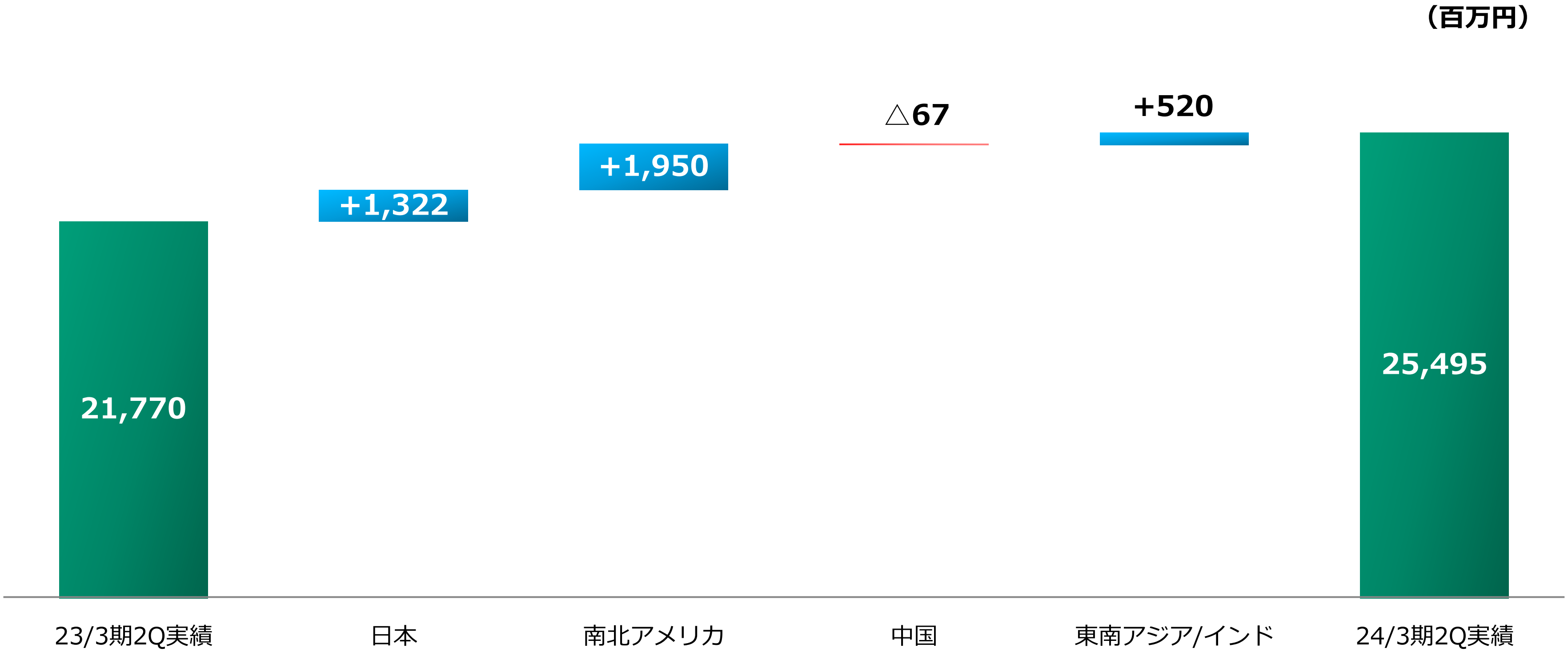
拠点別売上高（百万円）

拠点		23/3期2Q	24/3期2Q	増減率
日本		9,502	10,895	+14.7%
アメリカ	ユシロアメリカ	2,257	2,834	+25.6%
	クオリケム Inc.	4,586	5,276	+15.1%
メキシコ		547	1,020	+86.4%
ブラジル		748	887	+18.7%
中国		3,211	3,083	△4.0%
タイ		892	1,142	+28.1%
マレーシア		665	781	+17.4%
インド		650	819	+26.0%
インドネシア		678	788	+16.1%

©2023 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

2024年3月期第２四半期　セグメント別売上高増減

- 日本セグメントは、販売価格改定効果により増収。
- 海外セグメントは、主要得意先の自動車メーカーの稼働率が低迷している中国セグメントを除き、生産台数回復をうけ増収。
- 南北アメリカセグメントは、業績回復が顕著なメキシコ・ユシロ、円安による為替影響の大きいアメリカ・ユシロ、クオリケムIncで増収。

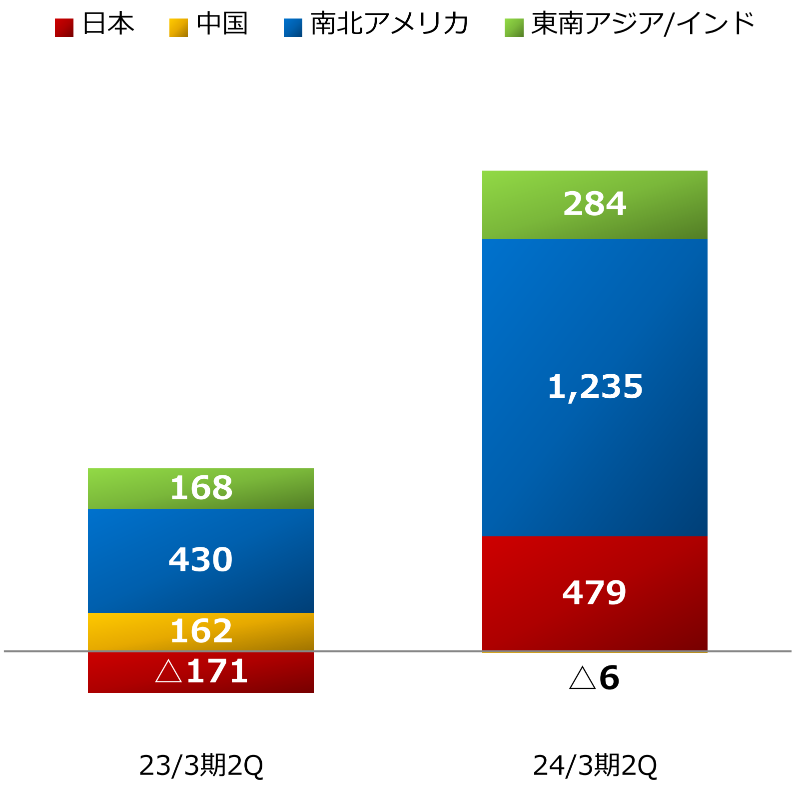


©2023 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

2024年3月期第２四半期　地域別営業利益

- 国内：販売価格改定が奏功し黒字転換。
- 海外：原材料価格は総じて横ばいで推移も、インドネシア、中国を除く各拠点は収益性が改善し増益。

セグメント別営業利益（百万円）



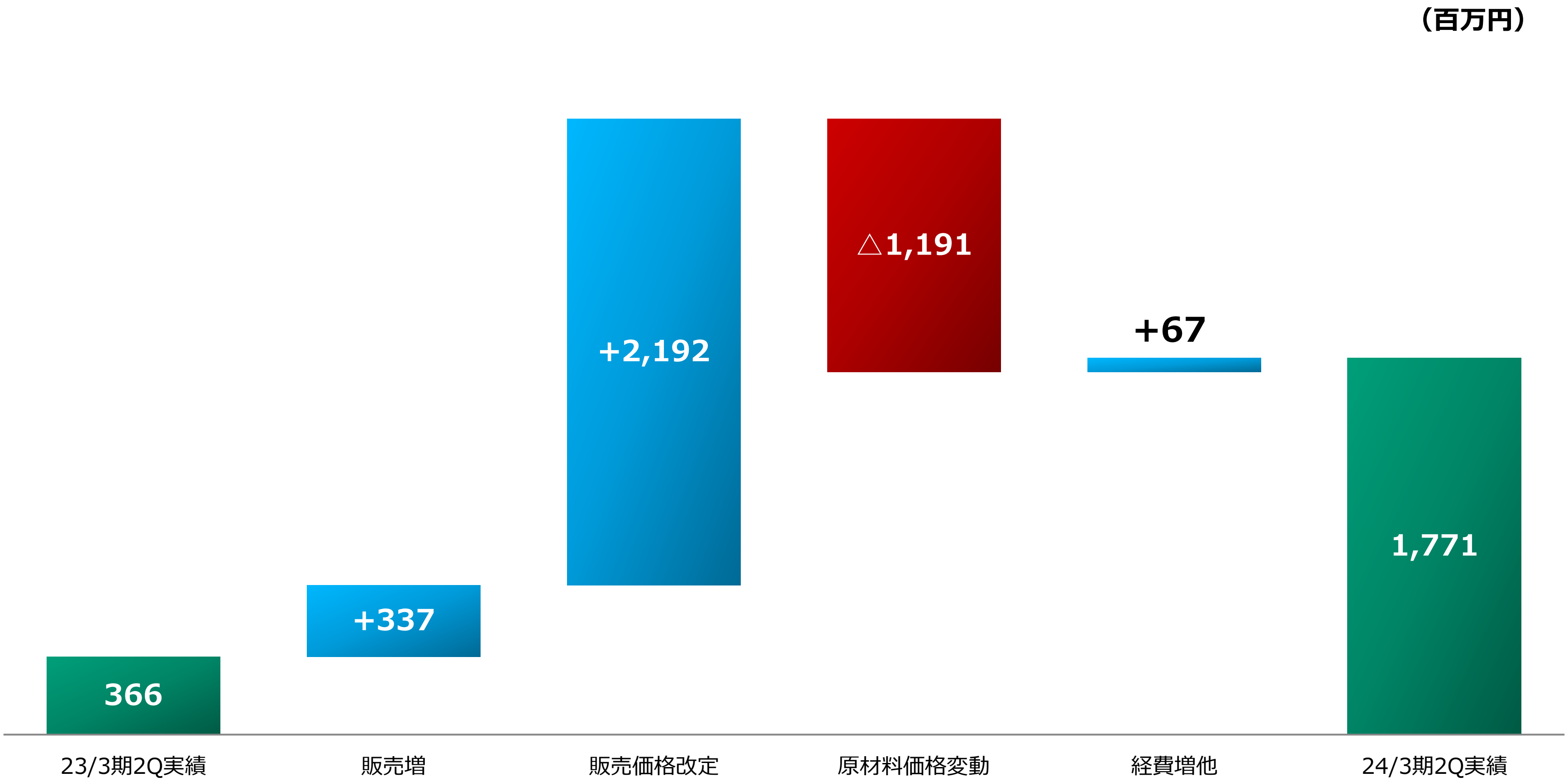
拠点別営業利益（百万円）

拠点		23/3期2Q	24/3期2Q	増減率
日本		△296	359	—
アメリカ	ユシロアメリカ	120	354	+194.8%
	クオリケム Inc.	284	642	+125.6%
メキシコ		△8	145	—
ブラジル		81	122	+50.7%
中国		188	23	△87.6%
タイ		77	132	+70.7%
マレーシア		11	66	+464.6%
インド		32	50	+56.6%
インドネシア		109	74	△32.6%

©2023 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

2024年3月期第２四半期　営業利益増減要因分析

- 原材料価格は引き続き高い水準にあるものの、販売価格の改定が進み増益。



©2023 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

2024年3月期
業績予想

Forecast

©2023 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

2024年3月期　連結業績予想

- 売上高：主要顧客である自動車メーカー及び自動車部品メーカーでの半導体不足による影響が縮小しており、また北米地区を中心に生産回復に伴う販売増を見込む。
- 各利益：販売価格改定による販売価格の適正化と、原材料価格は高い水準ながらも軟化傾向での推移を想定し、増益を見込む。

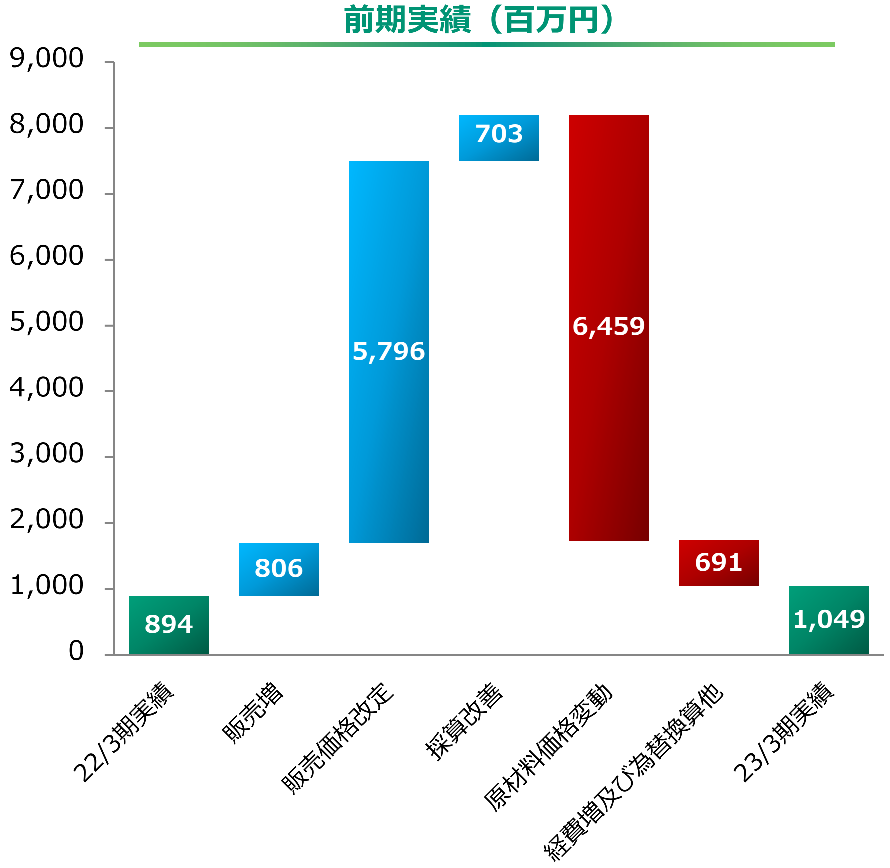
（百万円）

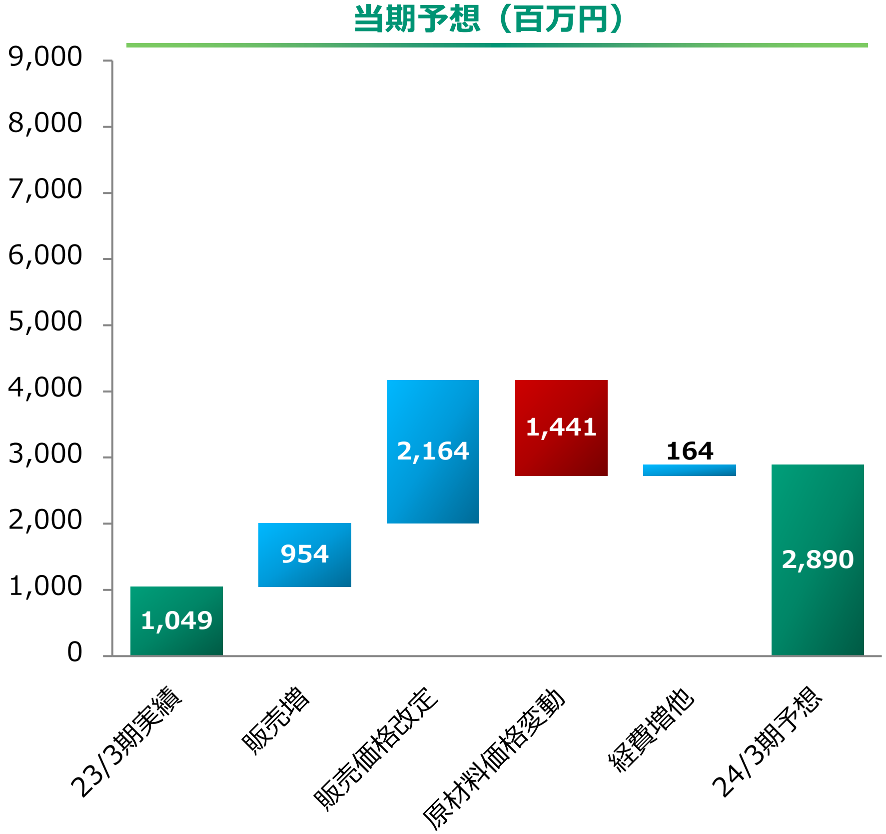
	23/3期実績	24/3期予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	46,790	51,800	+5,005	+10.7%
営業利益	1,049	2,890	+1,840	+175.3%
経常利益	1,442	3,680	+2,237	+155.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	898	2,480	+1,581	+175.9%

©2023 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

2024年3月期 営業利益（連結）増減要因分析

- 前期に比べ、原材料価格変動、販売価格改定は大幅に縮小を見込むものの、販売価格改定幅が原材料価格変動幅を上回り、営業利益の増益を見込む。



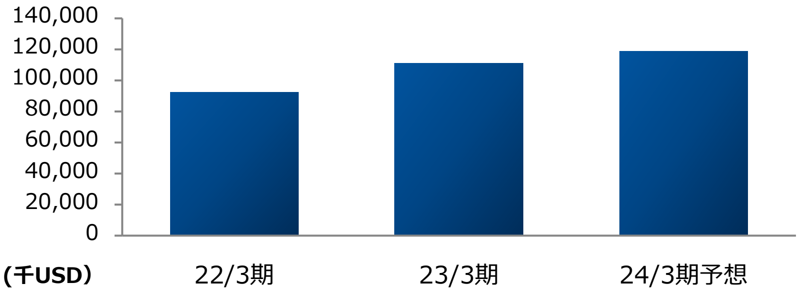


©2023 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

海外連結子会社売上高予想（現地通貨）アメリカ・ブラジル・メキシコ・中国

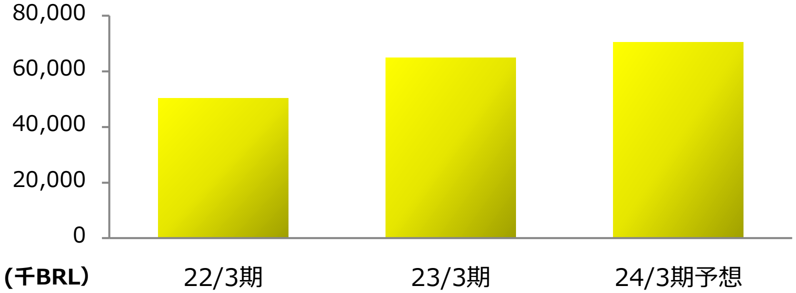
アメリカ

販売が順調に回復しているアメリカ・ユシロは、前期比7.9%の増収予想。同様に好調なクオリケムInc.は、前期比7.0%の増収予想。アメリカ全体では、7.3%の増収予想。



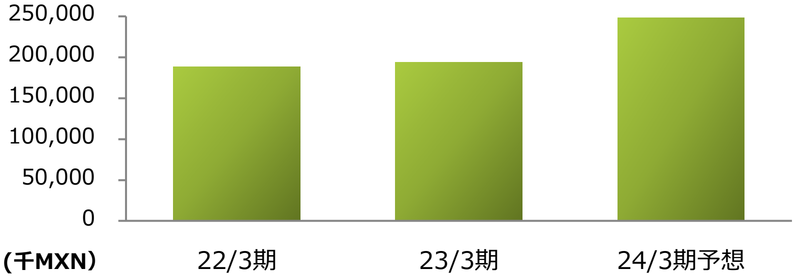
ブラジル

過年度からの販売価格の改定が奏功し、前期比8.6%の増収予想。

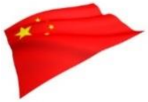


メキシコ

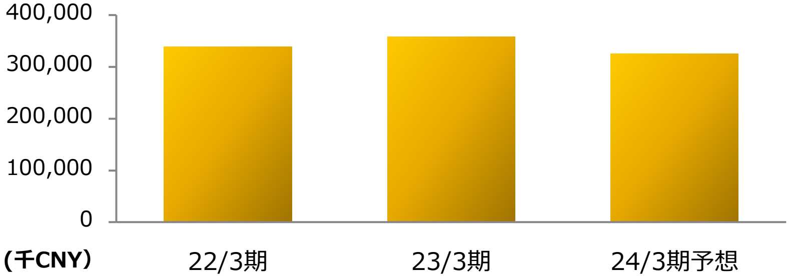
得意先である日系自動車メーカーの稼働率回復により販売増が見込まれ、前期比28.0%の増収予想。



中国



景気回復のペースが想定を下回っており、前期比9.4%の減収予想。

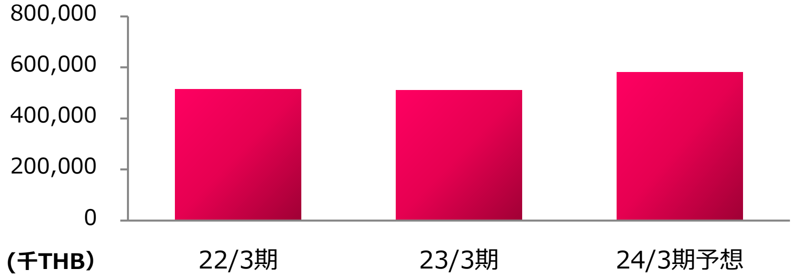


©2023 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

海外連結子会社売上高予想（現地通貨）タイ・インド・マレーシア・インドネシア

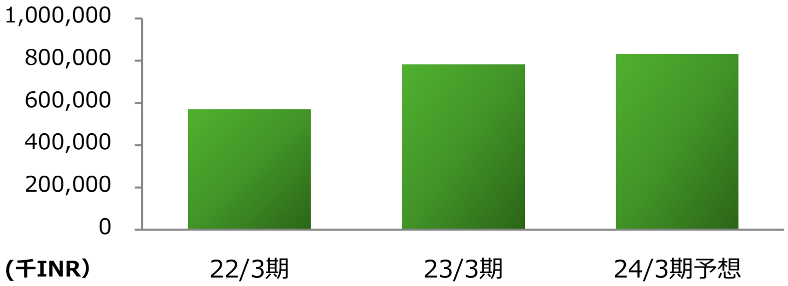
タイ

得意先である日系自動車メーカーの生産が回復傾向にある中、価格改定が進むと見込み、前期比13.8%の増収予想。



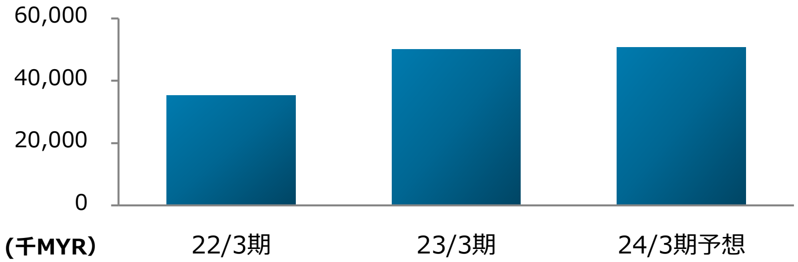
インド

得意先である日系自動車メーカーの好調な生産の中、価格改定が進むと見込み、前期比6.3%の増収予想。



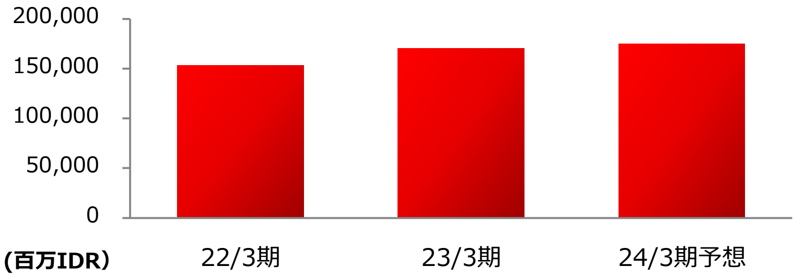
マレーシア

好調に推移した前期の影響があるものの、今期も堅調な推移で、前期比1.3%の増収予想。



インドネシア

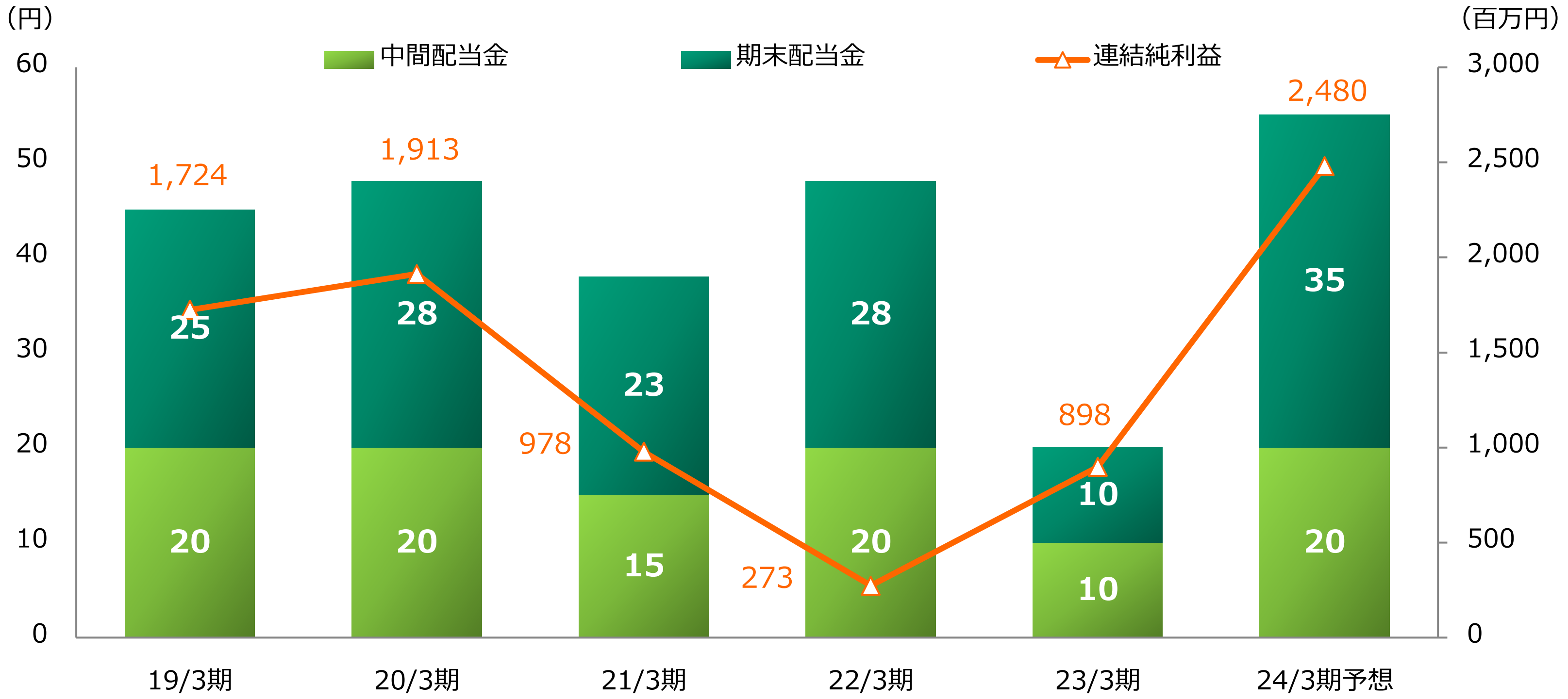
得意先である日系自動車メーカーの堅調な生産推移を見込み、前期比2.7%の増収予想。



©2023 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

株主還元

- 連結配当性向を30%以上とし、投資とのバランスを考慮しながら安定的な配当を目指します。



	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期	23/3期	24/3期予想
配当性向（連結）	**35.4%**	**34.1%**	**52.8%**	**239.2%**	**30.3%**	**30.2%**
純資産配当率（連結）	**2.0%**	**2.2%**	**1.7%**	**2.1%**	**0.8%**	**2.1%**
1株当たり配当金	**45円**	**48円**	**38円**	**48円**	**20円**	**55円**

©2023 YUSHIRO CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
All Rights Reserved.

当資料取扱い上の注意

当資料に記されたユシロの現在の計画・見通し・戦略等のうち歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られたユシロの経営者の判断に基づいた、将来の業績に対する見通しであります。従いまして、これら業績の見通しのみに全面的に依拠されることは控えるようにお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

実際の業績に影響を与え得るリスクや不確定な要素には、以下のものが含まれます。

①ユシログループの事業環境を取り巻く世界情勢

②世界の原油価格動向

③米ドルを中心とした為替レートの変動

④偶発事象　　　　等

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。また、リスクや不確定な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。当資料は、あくまでユシロをより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。